

第1回

徳島小松島港津田地区活性化計画検討会

～徳島小松島港津田地区を取り巻く状況～

平成27年10月19日

1.地理的狀況



2. 津田地区周辺の状況

四国横断自動車道
(整備中)



海岸保全施設



アクセス道路(市道)



アクセス道路(臨港道路)



3.四国横断自動車道等



津田地区ハーフ・インターチェンジ

- 平成27年7月 連結許可取得
- 県の整備による「地域活性化IC」
- 新たな「陸海空の結節点」の誕生
- 徳島県が飛躍的な発展を遂げるための地方創生の起爆剤
- 将来の高速道路南伸に向けたフルIC化を視野に

陸・海・空の交通体系の
飛躍的な進化による
新たな時代の幕開け

4.埋立・施設整備等

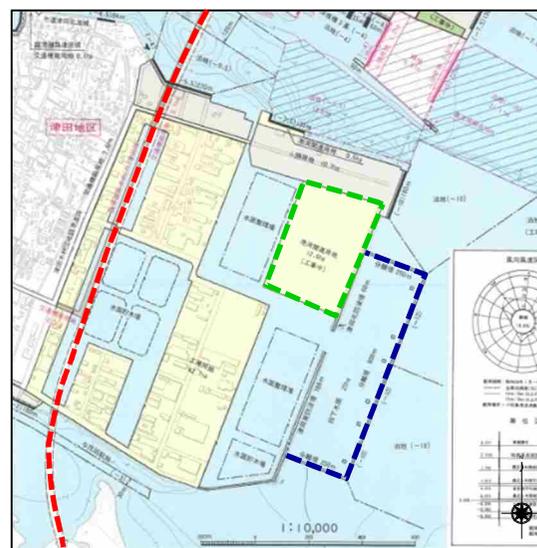


5. 港灣計画

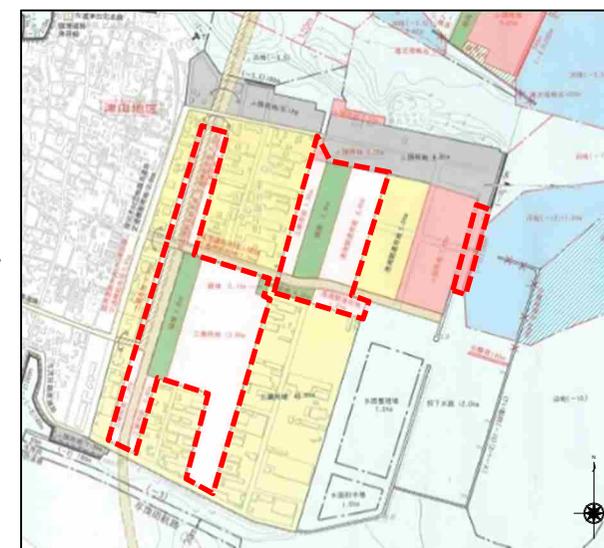
【S47 港灣計画】



【H6 港灣計画】



【H13 港灣計画】

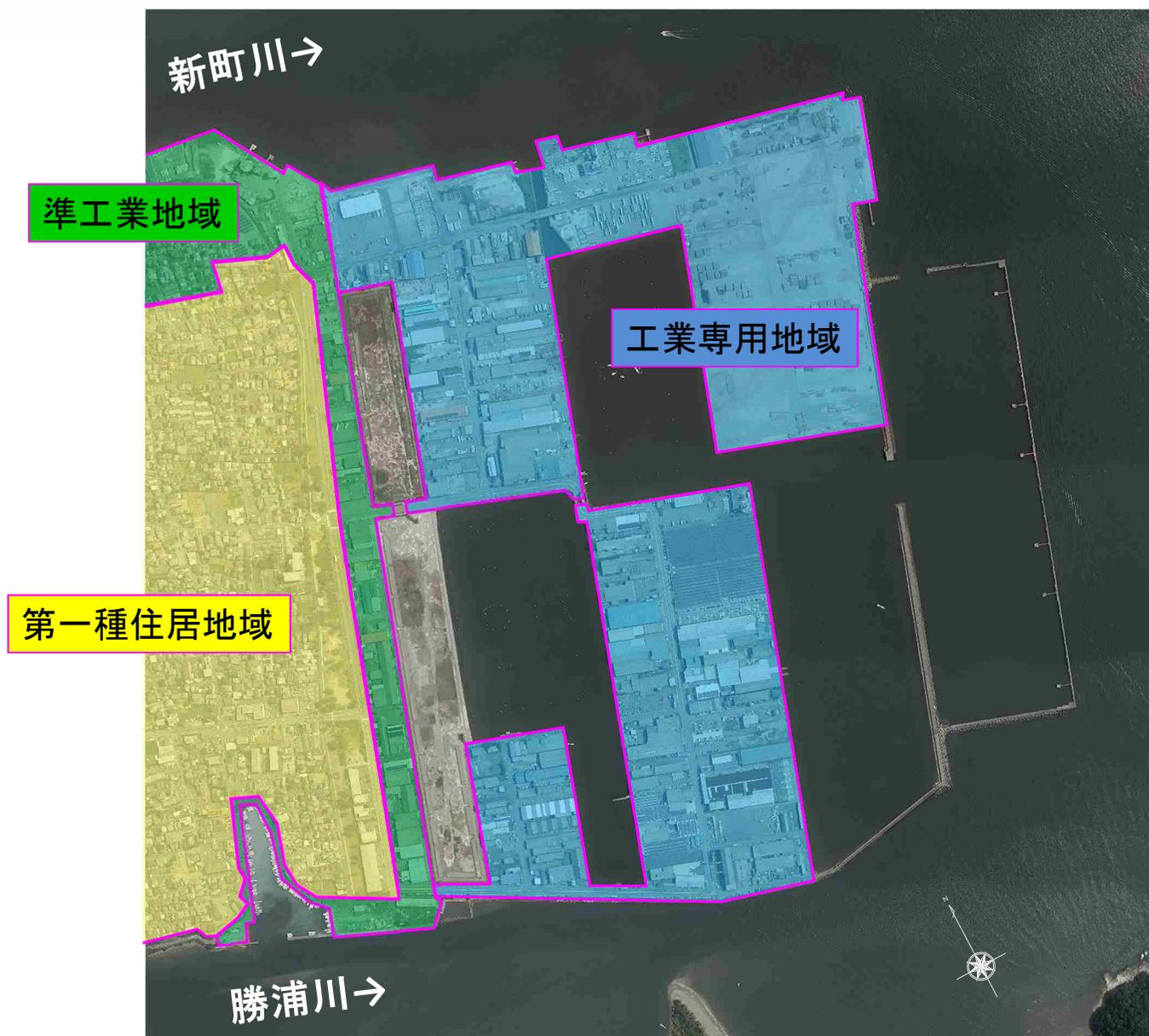


・S46年埋立工事完成時計画

- ・四国横断自動車道(H6)
- ・臨港道路沖洲(外)津田線(H6)
- ・港湾関連用地(S62)
- ・係船杭(-12m)分離堤(S48)
- ・係船杭(-10m)分離堤(S48)

- ・工業用地
- ・港湾関連用地
- ・岸壁(-12m)
- ・緑地 等

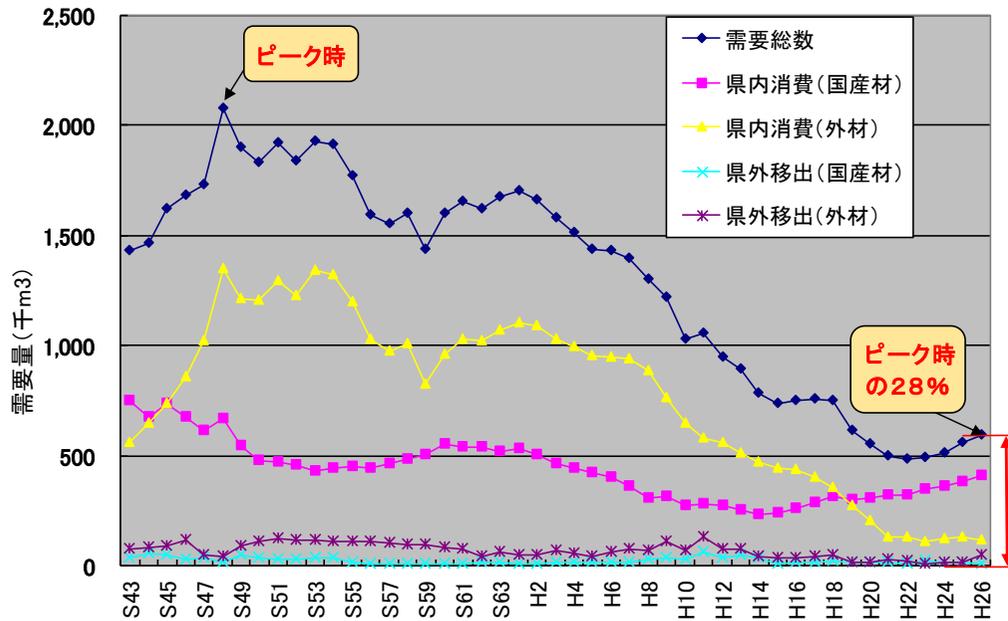
6. 都市計画(用途地域)



7.徳島県木材産業の状況

■徳島県の木材需要量

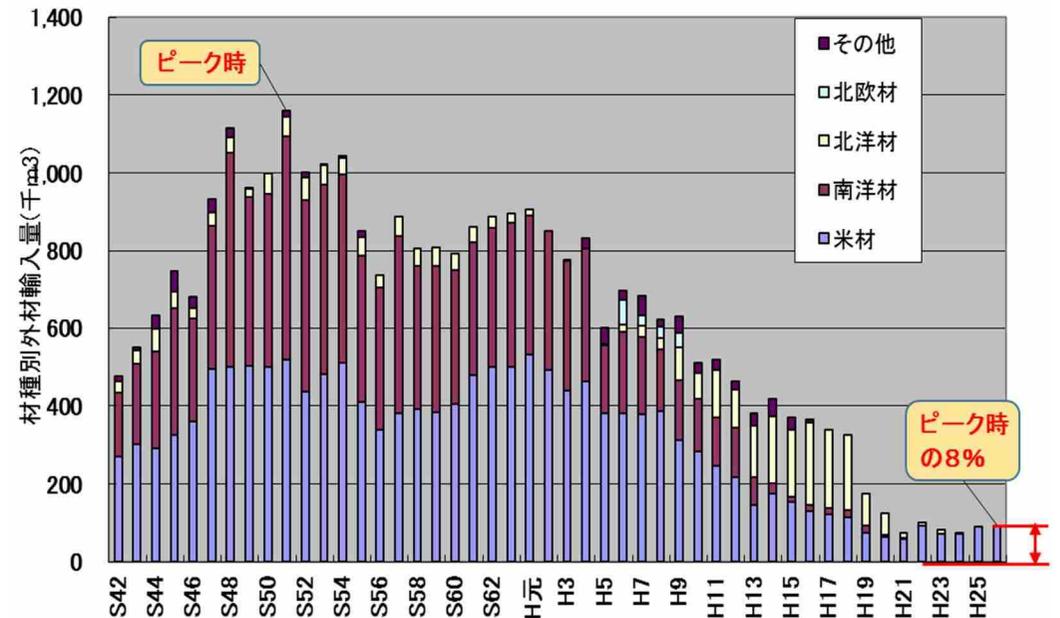
徳島県の木材需要量は
ピーク時の28%



図・徳島県木材需要量の推移

■徳島県の木材輸入量

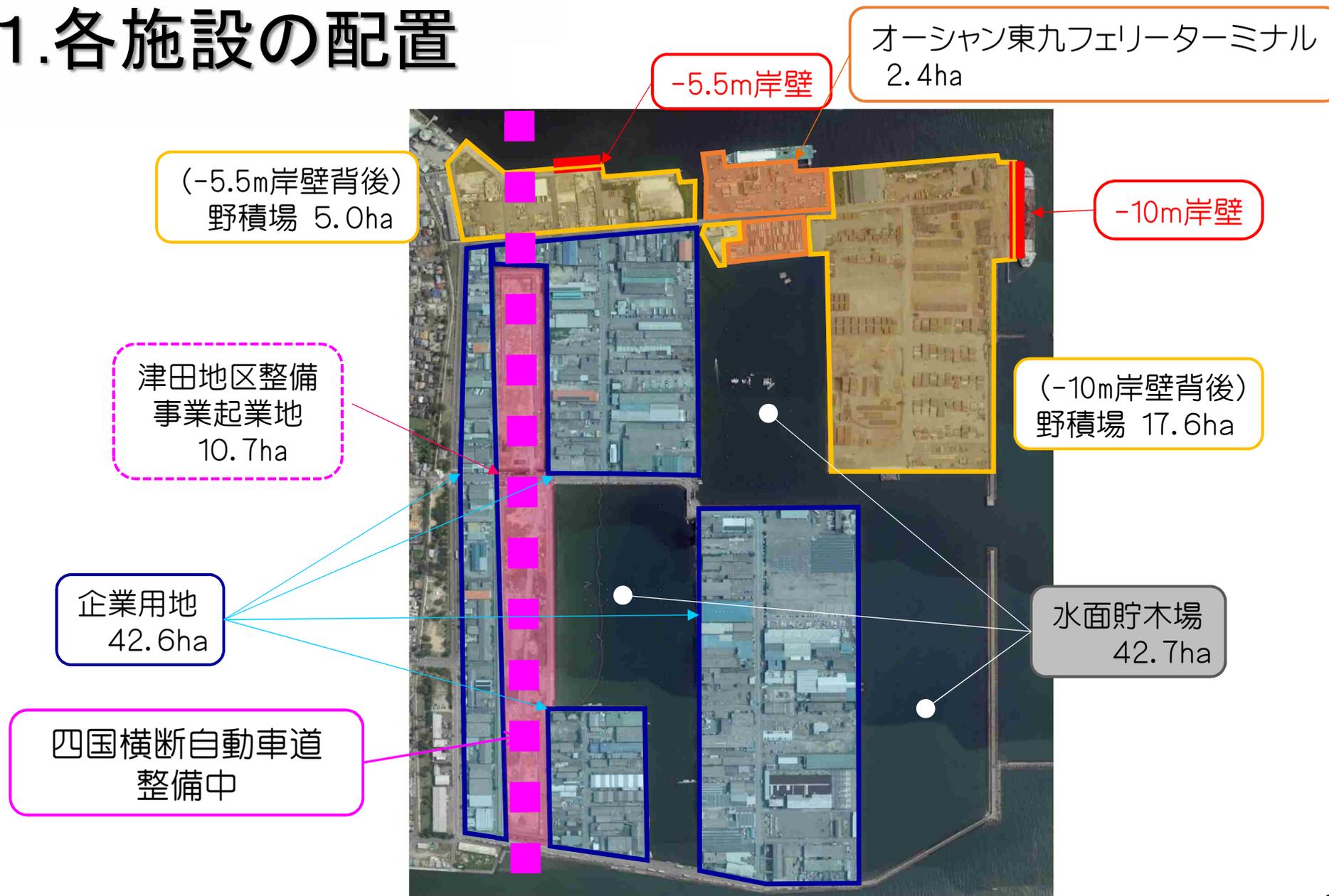
徳島県の木材(原木)輸入量は
ピーク時の8%



図・徳島県木材輸入量の推移

8.既存施設等の状況

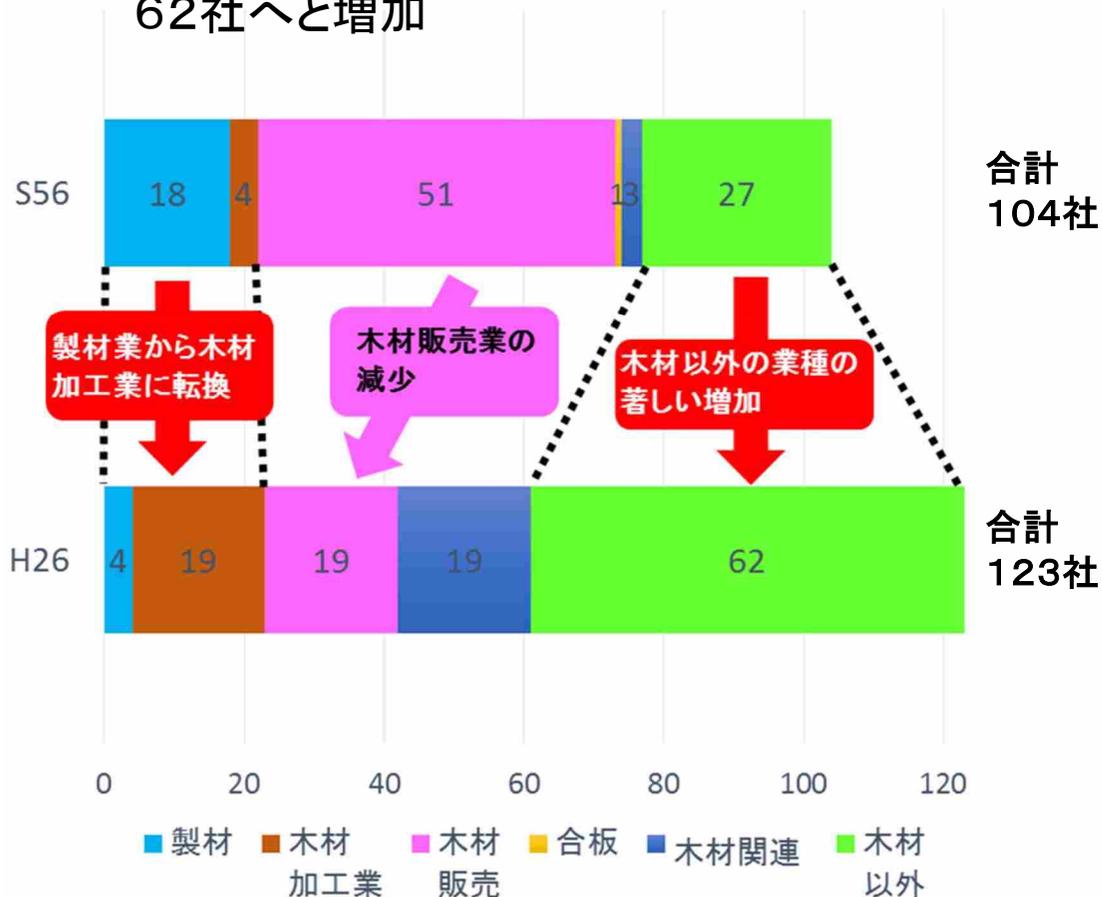
8-1.各施設の配置



8-2. 企業用地

■ 業種別企業数

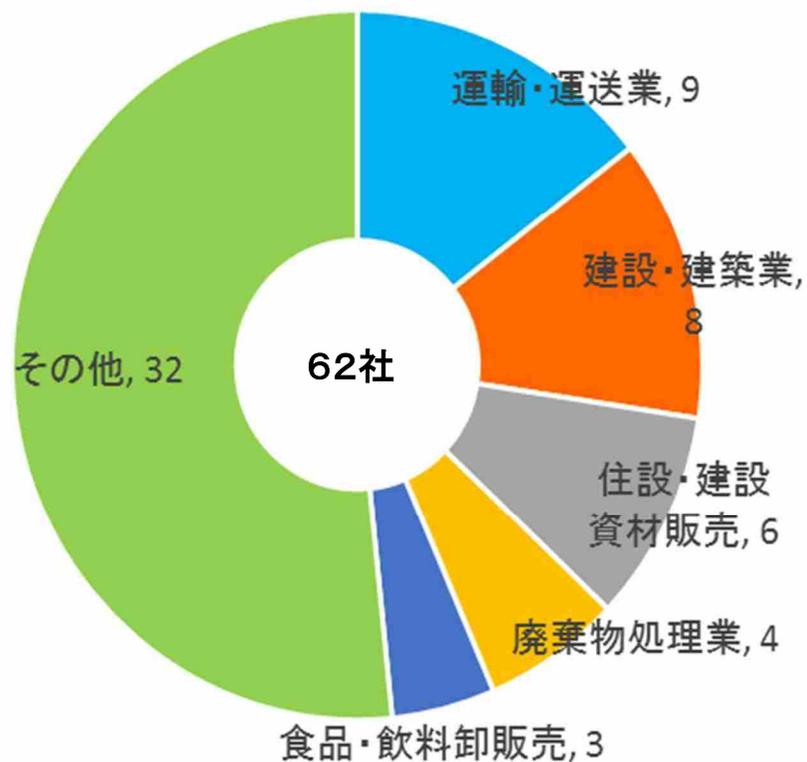
木材以外の業種が27社から62社へと増加



図・業種別企業数の推移

■ 木材以外の業種

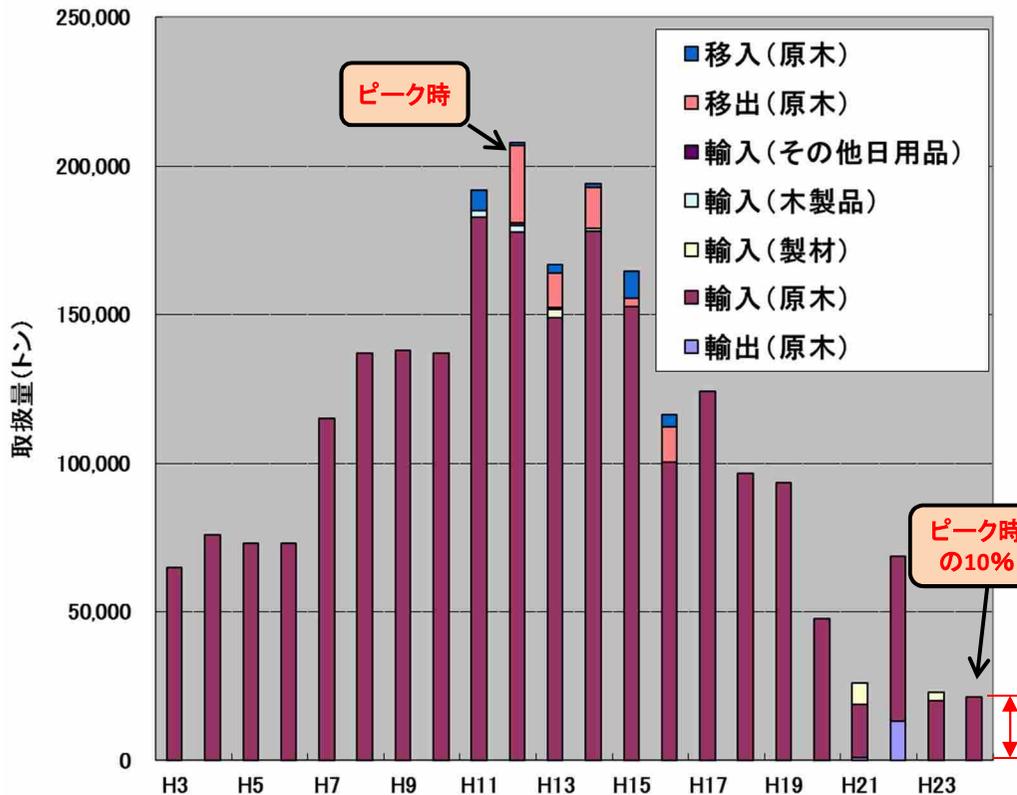
木材以外では、運送業や建設・建築業が多い



図・木材以外の業種

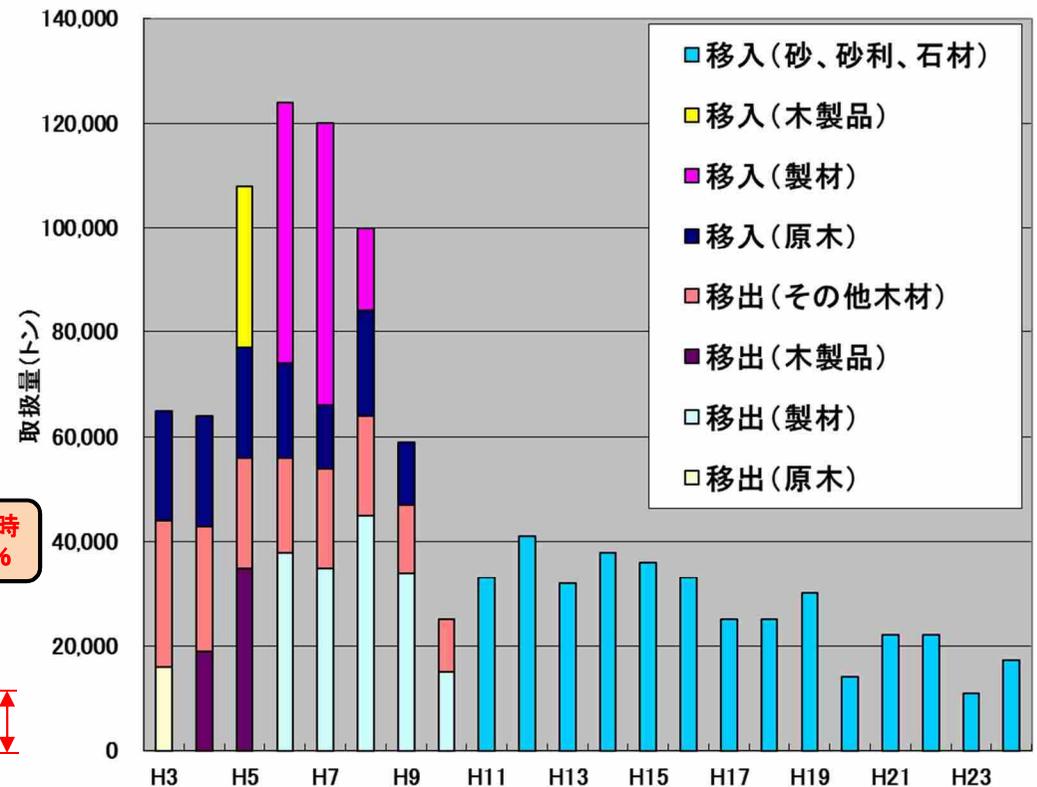
8-3.岸壁

■ -10m岸壁の利用実績
 -10m岸壁の取扱貨物量は
 ピーク時の10%



図・津田地区岸壁利用実績の推移(-10m岸壁)

■ -5.5m岸壁の利用実績
 -5.5m岸壁の取扱貨物は木材製品
 から砂・砂利に代わってきている

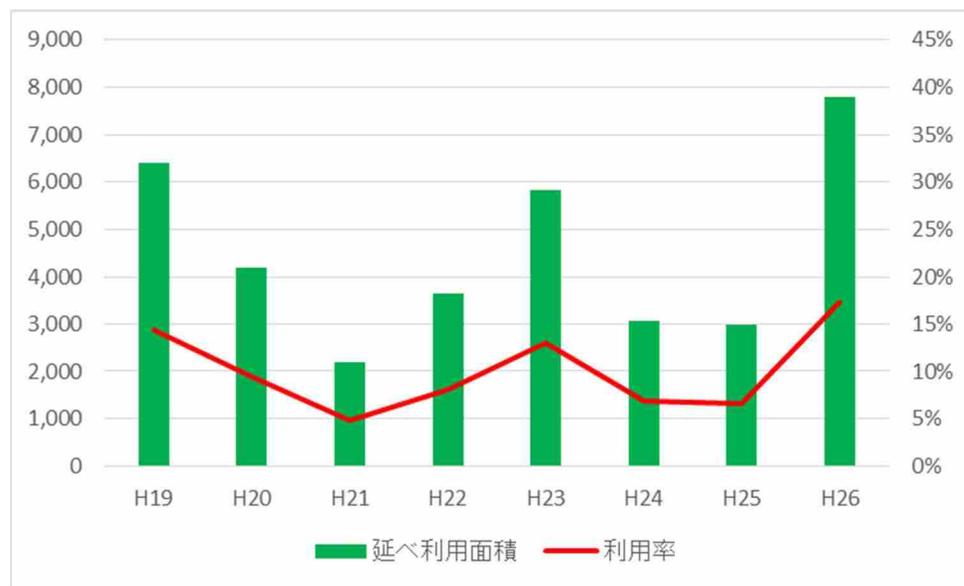


図・津田地区岸壁利用実績の推移(-5.5m岸壁)

8-4.野積場

■ -10m岸壁背後野積場の利用実績

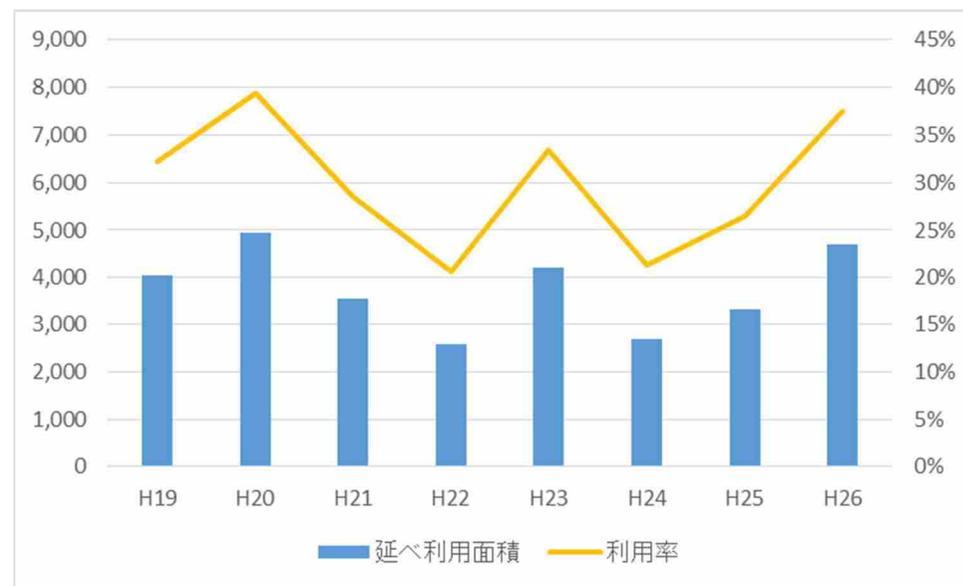
-10m岸壁背後の野積場利用率5%~17%



図・野積場利用実績の推移
(-10m岸壁背後)

■ -5.5m岸壁背後野積場の利用実績

-5.5m岸壁背後の野積場利用率21%~39%



図・野積場利用実績の推移
(-5.5m岸壁背後)

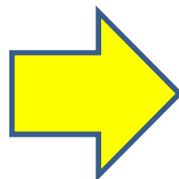
8-5.水面貯木場

■水面貯木場の利用実績

近年の水面貯木場利用率0.2~0.7%



図・水面貯木場利用実績の推移



8-6.オーシャン東九フェリーターミナル

オーシャン東九フェリー利用状況



現ターミナルビル



現オーシャンフェリー駐車場



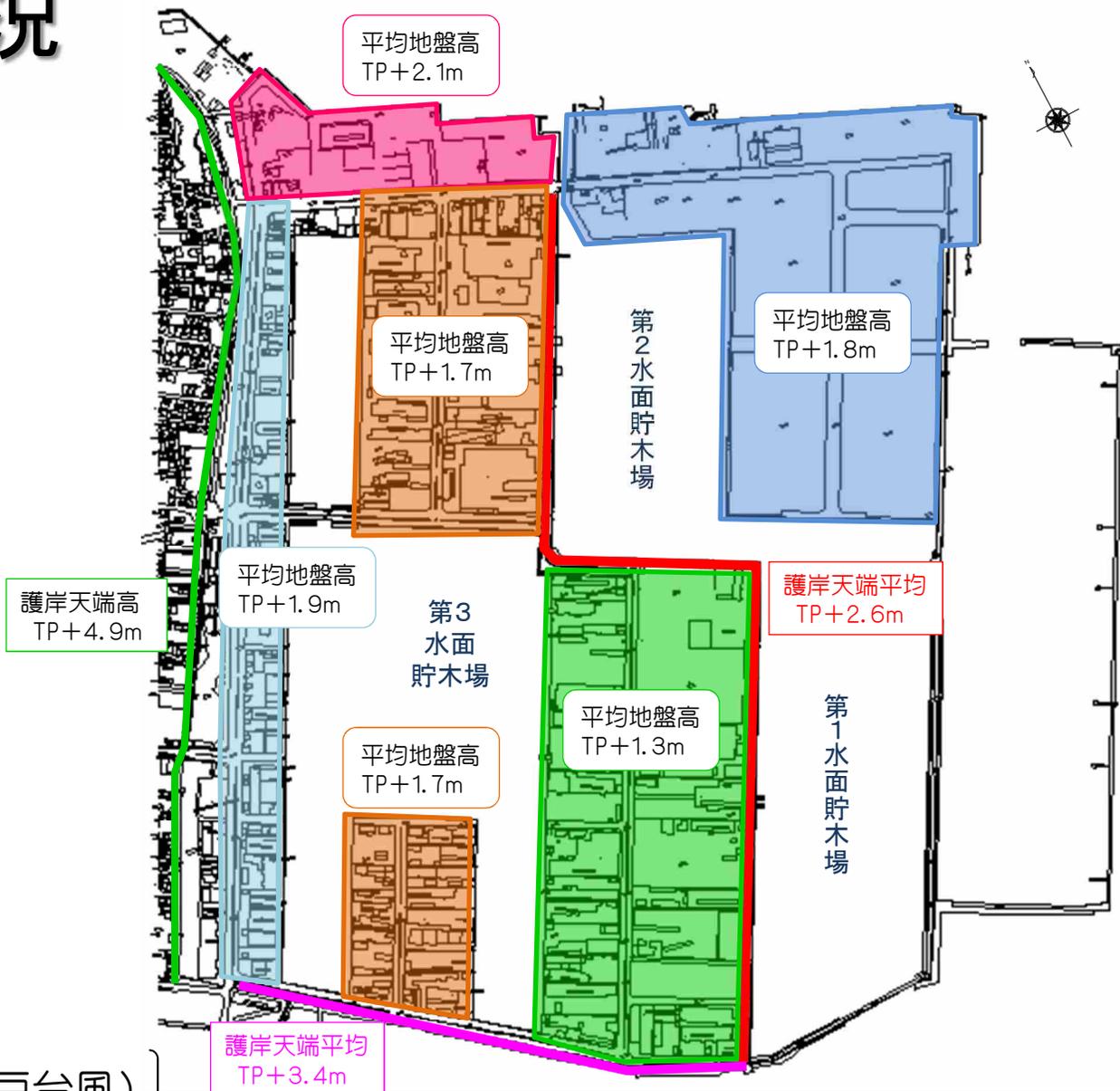
9.防災に関する状況

9-1.地盤高等

団地内護岸



海岸保全施設



最高潮位(H.H.W.L) T.P.+2.4m(第2室戸台風)
 満潮位(H.W.L) T.P.+0.8m

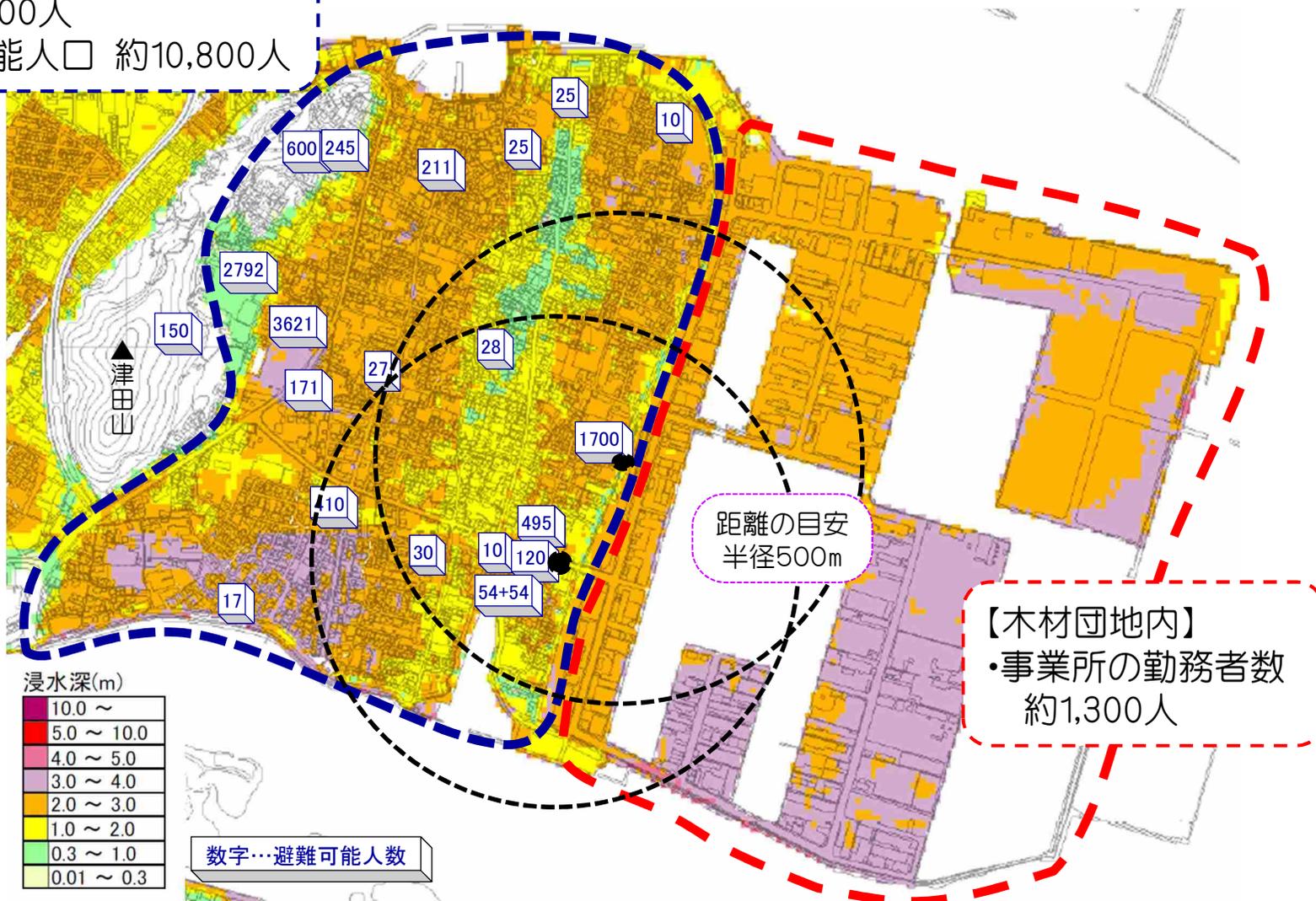
図・木材団地内地盤高さ

9-2.津波浸水深等

【津田地区（東側）】

・人口 約7,800人

⇒ 避難可能人口 約10,800人



図・徳島市地震津波防災マップ(津田地区)

10. 放置艇の状況

○ 津田地区周辺の放置艇隻数（徳島県管理）

区間	箇所		隻数
港湾 単独 区間	徳島小松島港	津田	6隻
		沖洲(外)	14隻
		沖洲	5隻
	小計		25隻
河川 単独 区間	沖洲川		48隻
	新町川		67隻
	助任川		7隻
	田宮川		3隻
	大岡川		4隻
	住吉島川		9隻
小計		138隻	
港湾 ・ 河川 重複 区間	徳島小松島港	新町川	100隻
		沖洲川	38隻
		園瀬川	26隻
		勝浦川	60隻
		打樋川	14隻
小計		238隻	

○ 暫定係留隻数

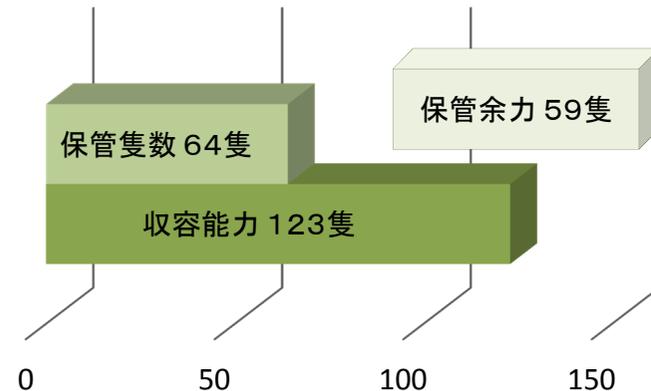
区間	箇所		隻数
重複 区間	徳島小松島港	新町川	117隻
		小計	

放置艇 + 暫定係留隻数 =	518隻
----------------	------

※平成26年度プレジャーボート
全国実態調査より



■ マリーナ等施設の収容能力



11.産業団地等

■産業団地等の状況



12. 徳島県のビジョン

12-1.vs東京「とくしま回帰」総合戦略

■ 基本目標

(1)新しい人の流れづくり

共通コンセプト「vs東京」のもと、各世代にわたる東京からの移住をはじめ、大都市圏からの「新しい人の流れ」を生み出す「とくしま回帰」を推進する。

(2)地域における仕事づくり

徳島の強みを活かした「産業競争力の強化」により、徳島に集う「ひと」が、魅力ある安定した「しごと」を創り出す「好循環」を加速する。

(3)結婚・出産・子育ての環境づくり

「切れ目のない次世代育成対策」を展開し、若者の結婚や出産に対する希望の実現をはじめ、「子育ての喜びを実感できる環境」を創造する。

(4)活力ある暮らしやすい地域づくり

「ひと」と「しごと」の好循環を強固に支え、安心して暮らし、学び、働き、子育てしやすい、笑顔に満ちた活力ある「まち」づくりを展開する。

12-2.新未来「創造」とくしま行動計画

■将来ビジョン(2060年頃の目指すべき将来像)

(1)世界へ発信「笑顔のTOKUSHIMA」

一人ひとりが夢や希望を持ち、それを実現できる「ひと」を創生する、県民誰もが「笑顔」あふれる社会

(2)世界に誇る「強靱(きょうじん)なTOKUSHIMA」

豊かな自然に育まれつつ、その脅威から命を守る「まち」を創生する、安全安心に抱かれた「強靱」な社会

(3)世界とつながる「創造のTOKUSHIMA」

国内外から、魅力的な「まち」に意欲的な「ひと」を呼び込み、未来を切り拓くイノベーションの渦を巻き起こす「創造」に満ちた社会